

「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」の開催について

危険物保安室

1. はじめに

石油製品の需要の減少を背景として、過疎化や、それに伴う人手不足等により、給油取扱所の数が年々減少しており、自家用車等への給油、移動手段を持たない高齢者への灯油配送などに支障を来す地域が増加しております。このような状況を踏まえ、エネルギー基本計画(平成30年7月閣議決定)等において、AI・IoT等の新たな技術を活用し、人手不足の克服、安全かつ効率的な事業運営や新たなサービスの創出を可能とするため、安全確保を前提とした規制のあり方について検討することが求められております。

このため、消防庁では、過疎地域等の地域特性や最近の技術動向等を踏まえ、「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」(以下「検討会」という。)を開催し、第1回検討会を5月22日(水)に、第2回検討会を8月1日(木)に行いました。

2. 検討項目

主な検討項目については次のとおりです。

- (1)地域の实情に応じた石油製品流通網の維持策における安全対策のあり方に関する事項
- (2)給油取扱所におけるAI・IoT等の新技術を活用した安全対策のあり方に関する事項

3. 令和元年度第1・2回検討会の内容

第1回検討会では、過疎地域等における燃料供給インフラの現状等について情報共有し、今後の方向性について検討が行われました。

第2回検討会では、第1回検討会の意見等を踏まえ、課題を整理し、各要望に対する検討の進め方について議論が行われました。

4. 今後のスケジュール

- 第3回 令和元年9月～10月頃(予定)
- 第4回 令和元年11月～12月(予定)
- 第5回 令和2年1月～2月(予定)

委員名簿(敬称略)

【座長】

吉井 博明 東京経済大学 名誉教授

【委員】(五十音順)

伊藤 晃 浜松市消防局 予防課長

伊藤 要 東京消防庁 予防部 危険物課長

小笠原雄二 危険物保安技術協会 業務部長

小川 晶 川崎市消防局 予防部 危険物課長

佐藤 義信 全国石油商業組合連合会 副会長 SS経営革新・次世代部会長

清水 秀樹 石油連盟 給油所技術専門委員長

清水 秀樹 長野県下伊那郡売木村 村長

田所 淳一 一般社団法人 電子情報技術産業協会

沼尾 波子 東洋大学 国際学部国際地域学科 教授

平野 祐子 主婦連合会 副会長

松井 晶範 一般財団法人 全国危険物安全協会 理事兼業務部長

三宅 淳巳 横浜国立大学 先端科学高等研究院 副高等研究院長・教授

元野木 卓 日本ガソリン計量機工業会 事務局 幹事

事務局 消防庁危険物保安室



検討会の様子

問い合わせ先

消防庁危険物保安室 危険物施設係 羽田野、河野
TEL: 03-5253-7524